

令和 5 年度 第 2 回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令 6 年 3 月 2 6 日（火）
招 集 場 所	日南町役場 第 2 会議室
開 会	午後 3 時 0 0 分 教育長
出 席 委 員	中村町長 青戸教育長 西村卓也教育委員 山脇教育委員 西村彰滋教育委員 米積教育委員
欠 席 委 員	なし
オブザーバー	實延総務課長、段塚教育次長、三上教育課長、長谷部参事

議 事 日 程		
		議 事 の 経 過
日 程 そ の 他	発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会 挨拶	教育長 町長	開会 本日定例議会の最終日に、教育長の再任を承認頂き、さらなる 3 年間を教育分野の推進に努めていただきたい。昨今教育現場は、働き方改革、学力、いじめ、不登校等様々な課題がある。家庭、学校だけでなく、社会的な現状等背景がどこにあるか、人間が成長するのに何が重要か等、改めて考える必要がある。併せて、デジタル化、多様化等これからの教育の在り方を考えていく。中学校卒業式でも言わせてもらったが、何が大事なのか見極めていくことが重要となる。教育長が言う非認知能力、コミュニケーション能力も重要である。来年度は、グローバル社会の中、英語教育に力を入れたい。英語ができればいいではなく、グローバルな事に触れる意味も併せ、本日のテーマ「日南町の英語教育の充実に向けて」について協議いただきたい。
2 報告 ○日南町の英語教育の充実に向けて	教育長	○「日南町の英語教育の充実に向けて」 ※資料により内容説明 資料 1 「学び舎にちなん（こども園・小学校・中学校）の外国語（英語）教育の現状」 ①小中学校の英語教育の英語教育実態調査結果から

3 協議 ○子どもたちを取り巻く教育課題を解決するために、教育行政として何ができるか	教育長 町長 教育委員	②小6の「技能別英検 ESG の結果から（小学生の英語力向上事業《鳥取県教育委員会》） ③小中学校児童・生徒の英検取得者数と受験補助人数（延べ人数） ④AIの技術を活用した、英会話アプリケーション「Terra Talk」の活用 ⑤令和5年度の成果と課題 ⑥認定こども園にちなん十色の英語活動の現状 ⑦認定こども園にちなん十色の英語活動の成果と課題 資料2「幼児教育における英語活動のメリット・デメリット」 ①英語活動のメリット・デメリット ②英語を身につけた後が肝心→英語を使って子どもたちは何がしたいか 資料3「国際交流員(CIR)の活動計画」 町長から英語教育を提案した理由を説明いただきたい。 自分の子育てを振り返ると、親として目の前の事で一生懸命で、その時だけで物を見ていたと感じる。ソフトテニスの指導者として関わり、子どもはきちんと働きかけると力をつける事がわかった。実力がつくと、大人や周りからも理解され、大きな大会を経験することで精神的にも強くなり、子ども自身も意欲が出てくるので、経験できる場を作ることが大切だと感じた。もう一つ、認定子ども園にした大きな理由として、将来に向けてどんな大人にしたいか、幼児期から考える場面を作っていきたいと考えた。せいが子ども園の視察で、0歳児が1歳児の動きを見て自分から学ぼうとし、保育士はその意欲を見守る姿を目の当たりにして、早いうちから自分で考える環境を準備し、やりたいことを作っていくことが重要だと感じた。シアトル交流時、中学生に将来何がしたいか聞くと、外国で仕事したいとの返事に意欲を感じた。外国語教育を日南町の魅力にしていきたい。ご意見を頂ければと思う。 進路指導の担当経験から、親の職業に就く傾向があると感じた。理由として視野の狭さが考えられる。色々な職業に触れることで、多くの中から選べると感じる。与えられるものが少ないと視野が狭くなることから、英語も早めに触れさせたい。先の見えない時代、英語は大きな武器になる。自然の英語が身に着く、英語に対しての拒否感をなくす機会にしてほしい。自分も英語ができれば、海外の人に
--	----------------------------------	--

	事務局 教育委員 事務局 教育長 教育委員 教育委員 教育委員 総務課長	日南町のオオサンショウウオについて説明できると感じている。語学だけでなく人権文化を学ぶことができる。自分も外国人との交流の中で、文化の違いや考え方の違いを知った。これから世の中に出ていく子どもたちには、英語教育は必要である。質問で、テラトークの利用状況について知りたい。中学校で利用しており、定例的に自宅で練習するまでにはなっていない。 スマホでも利用できると聞いたが。 基本的にはタブレットを持ち帰らなくてもスマホでできる。 大山町は対面で英語授業を実施しているが、それを補える効果があると感じている。興味のある子がどんどん使えることがいい。 我が子もテラトークを自宅で利用していたが、ゲーム感覚で楽しめていた。自分が英語を覚える時は苦痛でしかなかった。ＩＣＴの活用が日南町は進んでいるので、より効果的だと思う。シアトルの報告式に参加し、シアトルから帰ってからの変化を聞くと、大きな効果があると感じる。小さい頃から楽しく始め、生の英語を体で感じることはいい事である。 英語教育はすばらしい取り組みと感じる。田舎は情報量が少ない。鳥取県の情報量が都市の情報量の何十分の一だとすると、日南町ではもっと少なくなる。ぜひ子ども園、小学校低学年から進めてほしい。自分は外国人を避けてしまうが、今の子どもたちは自分から進んで関わっている。提案として、幼児教育に取り込んでいく時に、童遊びなど日本の文化も大切にしてほしい。英語活動、日頃の保育、日本文化を伝えていく場面等、幼児教育にうまく組み込んで計画してほしい。 日南町の子どもたちが、英語に抵抗が少ないというデータを見て、幼児期から英語教育に触れることは、より効果を得られると思う。自分は英語を勉強してきたが、英語脳については同感で、自分も英語で考えていた。日南町は外国人と触れる機会が少ないので、ぜひ小さい頃から触れてほしい。大山町は６人のＡＬＴを確保しているので、日南町も補充してほしい。また、大人でも英語を勉強したい人がいるので、大人にもその機会を作ってほしい。 ヒメボタルの補助員をした時、外国人への対応に慌てた事を思い出した。英語教育の効果の一つとして、仕事で生かす事ができる。日南町としては、英語を必要とした人材を求めていくなど考えていきたい。
--	---	---

4 挨拶	事務局	英語力は大学入試でも求められる。TOEIC等資格をもっていると、試験が免除される。資格を持たないと採用されない企業もあるので、取り組む価値がある。
	事務局	英語に対して壁を感じ、好きになるまでには至らなかった。これからは、英語を変換して英語を考えるぐらい英語が好きになってほしい。
	教育委員	ホームステイで環境が英語だけになると、英語で考えるようになった。
	教育委員	英語を英語で考えると、日本語にすることが難しかった。ずっと学び続けていく事が必要になる。
	教育委員	鳥取県の資料より、小学校で学習語彙が600～700も習得するとある。中学校では、英語の授業は英語だけを使って進めるように要望したい。例えば、英語キャンプで英語だけ使うなど、英語にしっかり触れる機会を作ってほしい。
	教育委員	今年度、シアトル派遣に16人もの大人数を送ってもらい、感謝している。今後もよろしくお願いしたい。
	町長	シアトル派遣後の変化した姿を、どんどんアピールしてほしい。どう変わったが伝わることが、大きな効果へとつながる。
	教育委員	昨年行った生徒の変化を見て、自分もそうなりたいといった声があった。
	町長	大人に向けてアピールすることも重要である。PTAなどにもアピールしていく。
	教育委員	報告会に参加したが、報告形式よりは座談会等、具体的な体験を語ることで、身近に感じたり理解につながると思う。
	事務局	保護者へのシアトル派遣後のアンケート回答では、あまり変化を感じ取っていない現状があった。しかし、今年の児童、生徒の面接では前年に行った子の変化を語る子が多かった。
	教育長	アンケートを直後だけでなく、半年後にとるのも面白いと感じた。
	事務局	以前にシアトル交流を体験した子は、英語だけでなく韓国語など語学に興味を広げている。そういう姿をPRの材料にしていきたい。
	町長	ぜひ、積極性が出たなどの良い効果を伝えてほしい。
	教育長	たくさんの意見をいただいたので、参考にして令和6年度取り組んでいきたい。
	町長	来年度の機構改革では、自立改革、地方再生、庁舎内の情報発信を取りまとめる課として「まち

5 閉会	未来創造課」、環境部門の、ごみ、再生エネルギー、空き家などに取り組む「環境エネルギー課」、福祉保健課の中に、こども世代の充実支援策として「こども若者未来課」を新しく設立する。特に子ども世代の支援として、出生祝金を１０万円に増額、進学時の補助を小中高で１０万、２０万、３０万と増額、奨学金を１年目１００万、２年目からは６０万と拡充し、「子ども家庭センター」も新設して相談窓口を作る。総合教育会議の主管課は、こども若者未来課へ移行するが、行政部門、教育部門との協議は変わらない。暗い話が多いが、明るいイメージを作り、教育の重要性を訴えていきたい。社会情勢は、１００人以上の職場は男性の育休取得の目標値を作るなど、大きく動いている。社会に動きに備え、職員の定数を増加している。
------	--

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員